

伊方町議会第 77 回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
田村 義孝 議員	1 伊方町の医療体制について	町 長
質問の要旨		
串診療所から常駐の医師がいなくなり 1 年が経ちました。従来通り、常駐の医師がいる状態がのぞましいですが、医師の確保も全国的に難しくなっており、今後、他の町内の診療所でも同じような問題が上がってくると思われ、新しい医療体制の確立が必要になってくると思います。 町内の医療体制のロードマップを作成する必要があると思われるが、どのように考えているかお伺いいたします。 また、医療の DX 化は必須だと思いますが、厚労省等の行政からの医療 DX に関する指針に関して伊方町役場ではどのくらい対応できていますか。 そして、医療 DX に関して患者情報の一元化が肝だと思いますが、その対応をする部署や専門的知識を持った人材が必要であると考えますが、そのあたりをどうカバーするのか、どのようなお考えでしょうか。 新しい医療体制においては、オンライン診療は有効な手段であると考えます。串診療所では、1 日はオンライン診療をしていると聞いていますが、1 年間運用してみて、メリットや課題点などは見えてきましたか。それらをふまえて、今後はどのような展開をお考えでしょうか。 救急体制についてですが、救急隊からの情報としてトンネル内では救急車からの生体情報の発信が伊方町のトンネル内では途切れると聞いており、災害時の移動等にも大きな障害となると思われます。伊方町の救急搬送体制は長距離になるので救急車内の患者さんの情報は大切となりますので、町単独の予算で厳しいようでしたら、能登半島の震災や原子力災害等の避難道等の他の市町での教訓もふまえて県や国に対して積極的に DX インフラ整備に対して予算要望をあげ早期の解消に向かっていただきたいと考えますが、どのように考え、どのような動きをしていますか。 以上、5 点について、町長のご所見をお伺いいたします。		